

# 宛名プリンタインク交換マニュアル

(DA-5500、7500、6130Ⅱ、6350Ⅱ用)

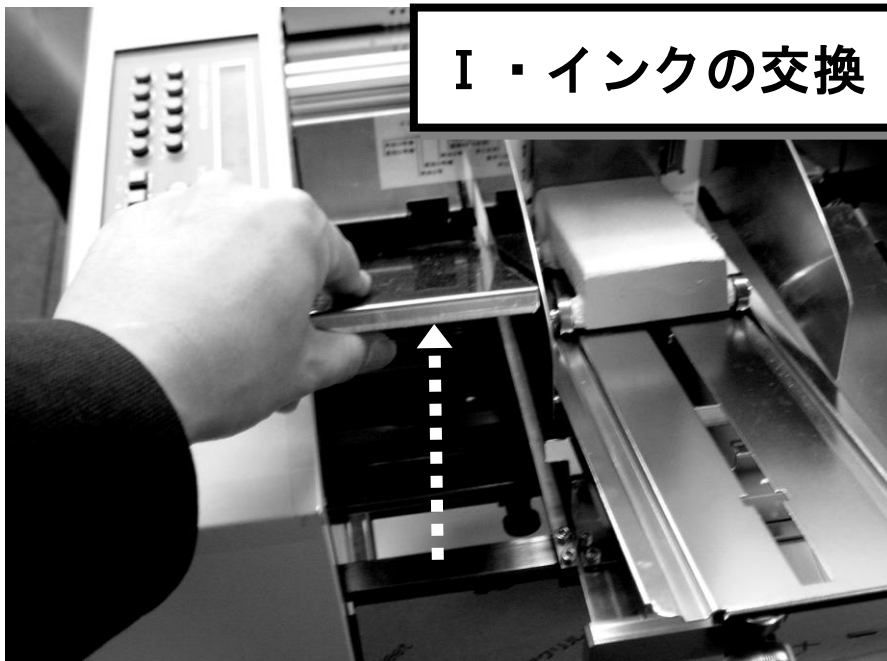
## 目 次

- I・インクの交換・・・・・・・・・・・・・・・・1～5 ページ
- II・インクの掃除・・・・・・・・・・・・・・6～9 ページ
- III・インク残量の修正・・・・・・・・・・・・10～12 ページ

2020年3月

タナック株式会社

## I・インクの交換



(1) まず、本体の手前側のカバーを外します。写真の様に手前部分を上に引き上げますと簡単に外せます。(力は要りませんので簡単に外せます)



(2) 印字可ランプが消灯している状態でメニューボタンを押すと画面が変わりますので左右の三角のボタンでカーソルを移動し、**HEAD** メンテナンスを選択したら実行ボタンを押してください。

※機種によってメニュー番号が異なります。



(3) 画面が切り替わりますので 左右の三角のボタンでカーソルを移動し、**コウカン**を選択したら実行ボタンを押してください。

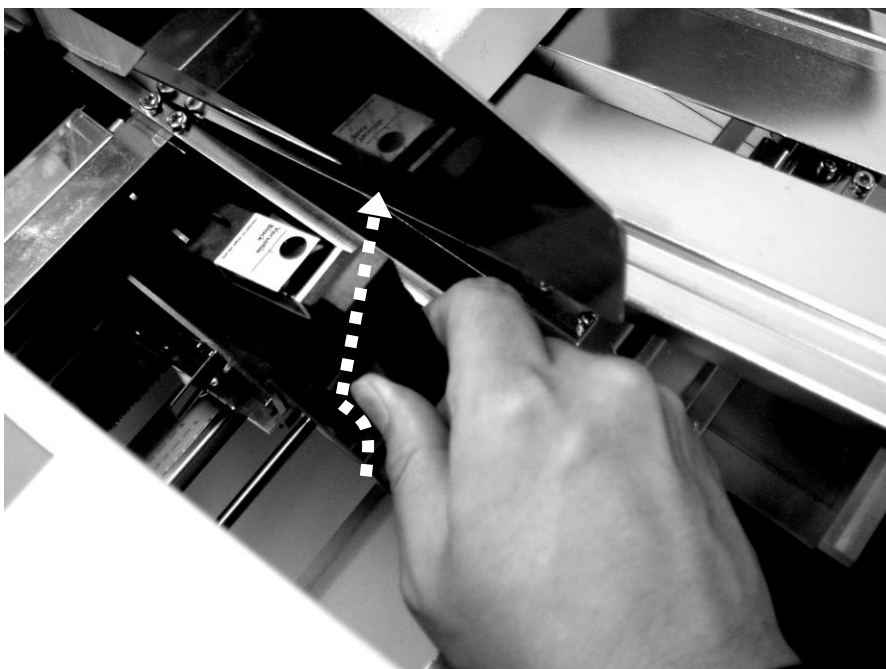
特殊インク設定を許可している場合、次の画面にてインク選択になります。使用するインクの種類を選択して実行ボタンを押してください。(許可していない場合は表示されません。)



(4) インクカードリッジが自動的に写真の場所に出てきますので実際に交換を行ってみましょう。



(5) まず、上の写真の様に手前の青緑色のレバー部分を手前に引き倒します。次にインクカードリッジ部分をつまみ、手前部分を軽く引き上げたらそのまま真っ直ぐ上に持ち上げますと外すことができます (下の写真)。





(6) では、新しいインクを挿入します。インクカードリッジに付いている保護シールをはがしたら、カードリッジを写真の様に軽く差し込んでください。(この時奥の方まで入れないでください)



(7) 手前の青緑色の部分にツメが付いており、インクカードリッジに合うようになっていますので、軽く青緑色のレバー部分を持ち上げてみてください。場所がしっかり合えば下の写真の様にインクの手前部分が自然に下にさがり、青緑色のレバー部分が上までスムーズに上がります。

うまく上がらない場合はインクカードリッジの場所を調整してください。

(注意！！この動作の際に絶対に青緑色のレバー部分に力を加えて無理に引き上げないで下さい。折れてしまうと修理が必要になります。)





(8) 交換が終わりましたら実行のボタンを押すとインクカードリッジが矢印の方向へ移動します（真上からは見えなくなります）。その後にもう一度実行ボタンを押してください。



(9) 写真の様なメニュー選択画面に戻りますのでメニューのボタンを押してください。



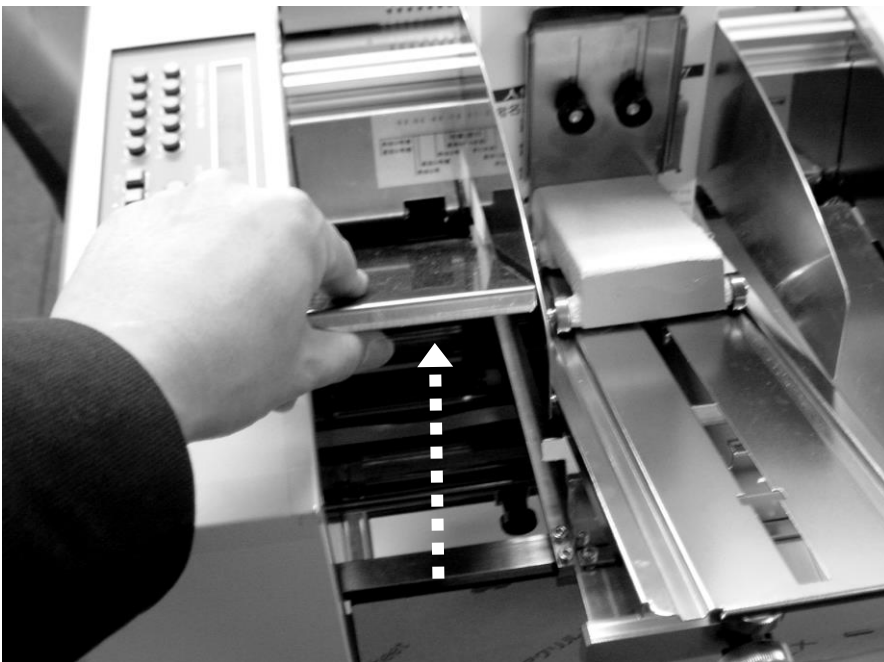
(10) 通常時の画面に戻ります。画面右上の数字が100%になっている事を確認してください。この数字はインクの残量の目安表示となります。



(11) 最後にカバーを元に戻しましょう。上の写真の様に奥側を差し込んでから手前を下に降ろしますとしっかり入ります (下の写真)。  
以上でインク交換は完了となります。

## Ⅱ・インクの掃除

- ・ プリンター内のインクの噴出部分が汚れていたり、しばらくの間印刷を行っていなかった場合、印刷を行った際に印刷面にインクの線が現れたり、文字がかすれていたりすることがあります。その場合、インクの噴出部を掃除する必要があります。ここではインクを取り外しての掃除の仕方を説明します。



(1) まず、本体の手前側のカバーを外します。写真の様に手前部分を上に引き上げますと簡単に外せます。(力は要りませんので簡単に外せます)

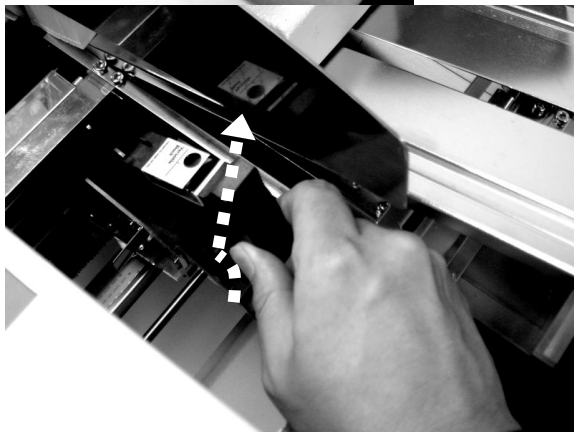


(2) 印字可ランプが消灯している状態でメニューボタンを押すと画面が変わりますので左右の三角のボタンでカーソルを移動し、**HEAD** メンテナンスを選択したら実行ボタンを押してください。

※機種によってメニュー番号が異なります。



(3) 画面が切り替わりますので、チェックを選択したら実行ボタンを押してください。



(4) インクカードリッジが自動的に上の写真の場所に出きます。インク交換のときと同じようにインクを外しましょう。

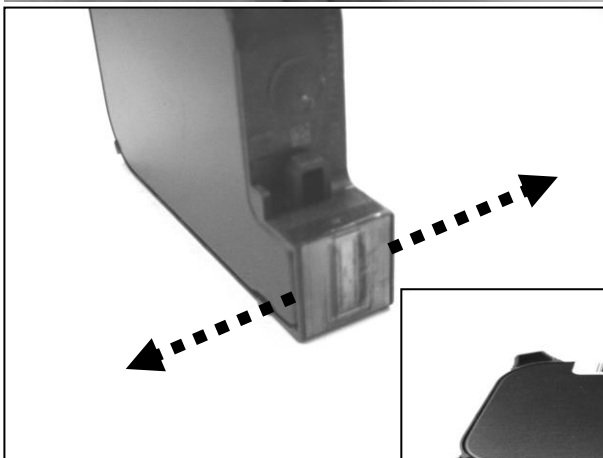
真ん中の写真の様に手前の青緑色のレバー部分を手前に引き倒します。次にインクカードリッジ部分をつまみ、手前部分を軽く引き上げたらそのまま真っ直ぐ上に持ち上げますと外すことができます (下の写真)。



(5) 取り外したインクカードリッジの噴出し面を下にして水またはぬるま湯で軽く濡らした布やガーゼでインクの汚れを拭き取りましょう。

※中性洗剤を使用すると成分によっては凝固し内部詰まりの原因となりますので使用しないで下さい。

※アルコールインクを使用時の清掃は空拭き又は無水アルコールにて清掃を行ってください。水で行うとインク性能に影響を与える場合がありますので使用しないでください。



(6) 布やガーゼでインクを拭き取る際には必ず横向きの方向（上の写真の矢印方向）へ拭いてください。上下の方向には拭かないでください（噴出し部分に傷が付きますと、上手く印刷が出来なくなります）。また、下の写真の金属端子部（機械本体との接触部分）を汚損させない様に注意してください。



(7) インク交換の際と同様にインクを戻します。上の写真の様に軽く青緑色のレバー部分を持ち上げて、ツメの部分が合えば下の写真の様にインクの手前部分が自然に下にさがり、青緑色のレバー部分が上までスムーズに上がります。うまく上がらない場合はインクカードリッジの場所を調整します。（注意！！この動作の際に絶対に青緑色のレバー部分に力を加えて無理に引き上げないで下さい。折れてしまうと修理が必要になります。）



(8) 掃除が終わりましたら実行のボタンを押すとインクカードリッジが矢印の方向へ移動します(真上からは見えなくなります)。その後もう一度実行ボタンを押してください。



(9) 上の写真の画面に戻りますのでメニューのボタンを押してください。通常画面に戻ります(下の写真)。そのとき画面右上のインク残量は100%にはならず、動作を行う前と同じ残量が表示されます(操作前と比較して1%減る場合がありますが、機械の仕様となっております)。



(11) 最後にカバーを元に戻しましょう。上の写真の様に奥側を差し込んでから手前を下に降ろしますとしっかり入ります(下の写真)。以上でインクの掃除は完了です。

### Ⅲ・インク残量の修正

- ・ HEAD交換を行うとインク残量は100%になり、HEADメンテナンスを行うとインク残量はメンテナンス前と同じ残量が表示されます。

そのため、HEAD交換にてインクの掃除を行った場合や、HEADメンテナンスにてインクの交換を行った場合等にはインク残量が実際の状況とは異なってきます。ここでは画面上でインクの残量の表示を変える方法を説明します。



(1) 印字可ランプが消灯している状態でメニューボタンを押すと画面が変わりますので左右の三角のボタンでカーソルを移動し、**HEAD**メンテナンスを選択したら実行ボタンを押してください。

※機種によってメニュー番号が異なります。



(2) 画面が切り替わりますので 左右の三角のボタンでカーソルを移動し、**コウカン**を選択したら実行ボタンを押してください。



(3) インク残量の画面が出ます。  
インク残量を100%に設定する場合はこの画面になったらもう一度**実行ボタン**を押し、次は(6)の操作を行います(4・5は行いません)。



(4) 変更をする場合は下の**1~0のボタン**を押して入力します。ここでは75%に変更してみます。この場合は7→5の順に押ししてください。



(5) 画面上に75と表示されますので**実行ボタン**を押してください。  
数値が点滅から点灯に切り替わります。  
変更が終わりましたらもう一度**実行ボタン**を押します。



(6) 上の写真の画面に戻りますのでメニューのボタンを押してください。通常画面に戻ります(下の写真)。そのとき画面右上のインク残量は74%になる場合がありますが、これは機械の仕様となっております(入力した数値より1引かれる)。  
以上でインク残量の修正は完了です。

・インク残量が分からなくなった場合はお手数ですが郵便物用のハカリ等、グラム単位で表示されるハカリを使用してインクの重さを確認して下さい。

インク残量は満タン時で115グラム、空の状態で75グラムになります(実際には75グラム以下にもなりますがHPでは印字保証しておりません)ので表示された重さを計算してインク残量の修正を行なってください。(例: 95グラム=50%)